

子どもたちが張り切って家族が喜ぶ活動に取り組もうとしています。「主体的に取り組む態度」の評価で大切なポイントがありますか。

「主体的に取り組む態度」の観点においては、

- ①「粘り強さ」
思いや願いの実現に向かおうとしていること
- ②「学習の調整」
状況に応じて自ら働きかけようとしていること
- ③「実感や自信」
意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとするを繰り返し、安定的に行おうとしていることなどを踏まえましょう。

単元の目標 第1学年 内容(2)「家庭と生活」(8)「生活や出来事の伝え合い」
家族がにこにこになるための活動やそれを伝え合う活動を通して、**家族のことや自分でできることを考えたり、伝えたいことや伝え方を選んだりして、家族の大切さや自分が家族によって支えられていること、家族と交流することのよさや楽しさが分かる**とともに、**自分の役割を積極的に果たし、規則正しく健康に気を付けて生活したり、進んで家族と触れ合ったりすることができるようにする。**



「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料より

単元の評価規準		主体的に学習に取り組む態度
		家族がにこにこになるための活動やそれを伝え合う活動を通して、自分の役割を積極的に果たし、規則正しく健康に気を付けて生活したり、進んで家族と触れ合ったりしようとしている。
小単元における評価規準	1	
	2	① 家族がにこにこになってほしいという願いをもって、自分でできることに繰り返し取り組んだり進んで家族と交流したりしようとしている。
	3	②自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けてたりするようになった自分に自信をもって、生活しようとしている。

※ 本事例では、小単元2・3において評価をする計画になっております。

例) 観点: 「主体的に学習に取り組む態度」

①**家族がにこにこになってほしいという願いをもって、自分でできることに繰り返し取り組んだり進んで家族と交流したりしようとしている。**

☆具体的な児童の姿☆

自分でできることを見つけて、試行錯誤しながら粘り強く取り組んでいる。

家庭での取組について、進んで家族から感想を聞いたり自分の考えを伝えたりしている。



洗濯物たたみをしているときに、家族がにこにこしているな。もっとできることはないかな。

H児 お風呂掃除や掃除機かけならできそうだから、やってみたよ。

第1小単元で家族がにこにこになるのはどんなときかを調べた活動を受けて、**もっとにこにこになって欲しいという思いや願いの実現に向けて取り組んでいるな。**



お風呂の洗い方がよく分からなかったけれど、家族がスポンジに洗剤を付けてくれたよ。泡が残らないような水の流し方も教えてもらったから、それに気を付けて8日間がんばったよ。

H児 家族から「ありがとう」って言われて、すごくうれしかった。他にもできそうなことを見つけてやってみたいな。

ワークシートを見ると、**自分で決めたことに継続的に取り組んでいるな。家族の言葉から考えたことを友達と共有することで、次の活動への意欲も高まっているな。**

これらの様子から、H児を「満足できる状態(B)」と判断することができます。

そこで、教師は、H児が次回に向けて取り組む際に、**家族の願いに触れることができるような家庭における関わりを促すことが考えられます。**

例えば、H児が自分が選んだお風呂掃除の取り組み方に対して、進んで家族から感想を聞いて工夫して取り組んだり、家族の願いに気付いて毎日自分から続けたりすることができる、「十分満足できる状態(A)」と判断することもできます。